

維管束植物

シダ植物 キジノオシダ科

キジノオシダ



2000年, 深浦町(旧岩崎村), 木村啓

青森県：A 環境省：該当なし 形態的特徴

地上生の常緑シダ。葉は単羽状でそう生し、栄養葉の葉身は長さ30～50cm、幅15cmほど。孢子葉は栄養葉より長く、羽片は線形となる。

分布等の概要

分布は中国大陸と朝鮮半島の済州島と日本。日本では、関東及び北陸地方から西が分布の中心。県内ではスギとミズナラやトチノキが混交している林下に少数株が生育している。

(木村啓)

双子葉植物離弁花類 ナデシコ

エンピセンノウ



1964年, 八戸市, 根市益三

青森県：A 環境省：該当なし 形態的特徴

湿地に生える多年草。茎は高さ50～80cm。葉は対生し、狭長卵形。花は緋赤色で、花弁の先は燕尾状に細裂する。花期は8月上旬。類似種フシグロセンノウは林縁などに生え、花が大きくてくすんだ朱赤色、花弁は裂けない。

分布等の概要

北海道・本州(青森・埼玉・山梨・長野)、朝鮮・中国(東北部)・ウスリーに分布する。県内では八戸市北沼に産することが古くから知られている。沼の周辺、背後の段丘および斜面の湿地に、サワギキョウ・タチギボウシなどと共に生育していたが、現在は北沼が開発されて、背後の段丘状の湿地にわずかに残っているだけである。

(根市益三)

双子葉植物離弁花類 ナデシコ科

エゾハコベ



1999年, 六ヶ所村, 根市益三

青森県：A 環境省：B類 形態的特徴

塩性湿地に生える多年草。茎は基部が這い、直立して高さ5～10cm。葉は狭長楕円形で鋭頭、質やや厚くて無毛。花は葉腋につき、花柄の長さ1～3cm。花期6月下旬～7月。

分布等の概要

北海道・本州(青森)、北半球北部に分布する。県内では六ヶ所村尾駁沼河口部南岸に発達したウミドリ・ヒメキンボウゲ・エゾツルキンバイ・オオシバナ・ヒライなどからなる塩性湿地植物群落中に、局所的に小面積で生育している。本州唯一の産地で南限である。

(根市益三)

双子葉植物離弁花類 アブラナ科

タカネゲンバイ



2002年, 深浦町, 木村啓

青森県：A 環境省：B類

形態的特徴

草丈15cmほどの小型多年草で、根生葉は有柄で楕円形をし、茎葉は卵形で茎を抱き、左右が矢尻形に張り出している。花は白色4弁で果実は一配形となる。

分布等の概要

日本特産の種類で、北海道では礼文島・利尻島・夕張岳・幌尻岳・余市山地・太平山・奥尻島で分布確認がされている。北海道以外の分布は深浦町だけである。北海道では沿岸から高山の岩礫地に生育し、県内では深山溪谷の断崖礫地にわずかに見られる。

(木村啓)

双子葉植物離弁花類 ベンケイソウ科

レブニワレンゲ



1993年, 八戸市, 細井幸兵衛

青森県：A 環境省：該当なし

形態的特徴

岩上に生える多肉質の多年草。全体粉白を帯びた緑色。葯は黄色。よく似たコイワレンゲは帯粉せず緑色で、葯は赤紫色である。

分布等の概要

北海道・本州(青森)に分布する。県内では八戸市の海岸の岩上や岩隙に生える。しばしばコイワレンゲと混生することもある。

(細井幸兵衛)

双子葉植物離弁花類 ベンケイソウ科

アズマツメクサ



2007年, 東通村, 木村啓

青森県：A 環境省：準絶滅危惧

形態的特徴

ナデシコ科のツメクサに似た草姿をしている。草丈5cmほどの小型1年草で、茎葉は肉質。茎は単一あるいは分枝し、薄緑色をしているが紅を帯びることもある。葉は無柄で対生し、線状で先が尖る。対生する2枚の葉の基部が連結している。花は小形白色4弁で左右の葉腋に交互して1個ずつ着く。

分布等の概要

世界的分布はヨーロッパ・北アフリカ・アジア・北アメリカの北半球である。東通村の生育地点では泥砂地に小群をつくっているが、数は極めて少ない。

(木村啓)

双子葉植物離弁花類 バラ科

エゾシモツケ



1996年, 東通村, 根市益三

青森県：A 環境省：絶滅危惧 類

形態的特徴

山地の岩石地に生える落葉低木。高さ1m内外。若枝は赤褐色で軟毛がある。葉は長さ2~3cm、長楕円形、鈍頭、先にだけ少数の鋸歯がある。枝先に散房花序をつけ、花は白色、径5~6mm。花期5月中~下旬。他のシモツケ類とは葉の形で見分けられる。

分布等の概要

北海道・本州(青森)、アジア東北部に分布する。県内では東通村尻屋に産する。石灰岩地の日当たりの崩壊斜面に、他の低木類と一緒に小面積で生育する。

(根市益三)

双子葉植物離弁花類 スミレ科

エイザンスミレ



2002年, 五戸町, 木村啓

青森県：A 環境省：該当なし

形態的特徴

山地の木陰に見られる。地上茎はなく、葉も花も多数そう生ずる。葉は3全裂し、各裂片に柄がある。花は大きく淡紅紫色から桃白色で側弁有毛。

分布等の概要

世界的分布は日本だけ。日本の分布は本州の青森県から九州霧島まで。県内での分布は五戸町手倉橋・階上町赤保内に限られる。

(木村啓)

双子葉植物合弁花類 キキョウ科

バアソブ



1989年, 三沢市, 根市益三

青森県：A 環境省：絶滅危惧 類

形態的特徴

林縁などに生えるつる性の多年草。ツルニンジン(ジイソブ)に似ているが全体小型で、葉裏に毛が多い。花冠は鐘形で長さ2~2.5cm(ツルニンジンは2.5~3.5cm)。花期8~9月。種子は黒褐色で翼がない(ツルニンジンは淡褐色で翼がある)。

分布等の概要

北海道・本州・四国・九州、中国(東北部)・ウスリー・アムールに分布する。県内ではごくまれで、分布状況は明確でない。ツルニンジンによく似ているので見過ごされていることもある。林縁や林内に生息するが、落葉広葉樹林の伐採跡に出現することもあるので注意したい。

(根市益三)

双子葉植物合弁花類 ムラサキ科

ムラサキ



2002年,八戸市,根市益三

青森県：A 環境省：絶滅危惧 B類

形態的特徴

山地の草原に生える多年草。全体に粗毛が多い。茎は高さ40～70cm。葉は披針形、表面にへこんだ平行脈が目立つ。花は白色で径4mm、喉部に黄味を帯びた突起がある。花期7月。分果は白色で平滑。

分布等の概要

北海道・本州・四国・九州、朝鮮・中国・アムールに分布する。県内では全域に分布するがまれである。かつては草地にまれでなかったが、牧野・採草地の廃止と共に1960年代頃から激減した。日当たりの排水のよい土壌を好むので、石灰岩地が適合し、今でも東通村尻屋および八戸市・階上町の石灰岩地で見られる。

(根市益三)

双子葉植物合弁花類 ムラサキ科

ツルカメバソウ



2008年,八戸市,根市益三

青森県：A 環境省：絶滅危惧 B類

形態的特徴

林下の湿り気のある所に生える多年草。茎は高さ10～20cm。花が終る頃葉腋から走出枝を長く伸ばし新苗を生じる。葉は卵形、下部のものには長柄がある。花は淡青色から白色、直径1cmぐらい。花期5月下旬～6月。類似種タチカメバソウは山地生で走出枝を出さない。

分布等の概要

本州(中部以北)に分布する。日本固有。県内では太平洋側南部の八戸市・階上町に産し、北限である。丘陵地の沢沿いの林下や流れのほとりに小群で点在する。

(根市益三)

双子葉植物合弁花類 シソ科

エゾナミキソウ



2004年,八戸市,根市益三

青森県：A 環境省：絶滅危惧 類

形態的特徴

湿地に生える多年草。茎は高さ30～60cm、4稜があり、稜上にちぢれ毛がある。葉は長卵形～長楕円状披針形、先はややとがる。花は淡青紫色。花期7～8月。類似種ナミキソウは海岸の砂地や草地に生え、全体やや小さく、葉は長楕円形で先は丸い。

分布等の概要

県内では海岸部の湿原から湖沼周辺・河岸等の湿地に見られる。太平洋側に産地が多い。陽性の湿地に生えるがハンノキ林内にも生育する。溜池周辺や水路脇に見出されることもあり、これまで開田により失われた所も多いと考えられる。

(根市益三)

単子葉植物 ユリ科

ヒメユリ



1970年, 南部町(旧名川町), 根市益三

青森県：A 環境省：絶滅危惧 B類 形態的特徴

草地に生える多年草。茎は高さ 30～80cm。葉は線形。花は朱赤色、小型で上向きに咲く。花期7月中旬。

分布等の概要

県内では太平洋側の南部町から五戸町にいたる丘陵地の草地や林縁に見られる。戦後自生地の採草地やカヤ刈場が中止されるとともにヒメユリも減少に転じた。1980年代にはススキ草原から転じたアカマツ林縁にやっと見出される程度になり、今ではアカマツ林伐採跡地にも出現を見ない。

(根市益三)

単子葉植物 カヤツリグサ科

クグスゲ



1990年, 東通村, 根市益三

青森県：A 環境省：絶滅危惧 B類 形態的特徴

湿地に生える多年草。そう生し、茎は高さ 40～70cm。雌小穂は長さ2～5cm、幅6～8mm、點頭する。果胞は長さ4～5mm、熟すと反曲し、口部は2深裂し、裂片はまっすぐでジョウロウスゲのように反曲することはない。花期7月。

分布等の概要

北海道・本州(青森・群馬・長野)、シベリア・ヨーロッパ・北アメリカに分布する。県内では東通村荒沼と三沢市小田内沼に産し、沼の岸辺に生育する。

(根市益三)

単子葉植物 カヤツリグサ科

ヒメウシオスゲ



1991年, 六ヶ所村, 根市益三

青森県：A 環境省：準絶滅危惧 形態的特徴

塩湿地に生える多年草。地下茎は横走り群生する。茎は高さ 5～20cm。葉は茎より高く伸び、やわらかで幅1～2mm。雌小穂は無柄で直立する。果胞は卵形で灰緑色。

分布等の概要

県内では太平洋側の六ヶ所村と三沢の高瀬川河口部の塩湿地に産する。ウミドリ・ヒメキンボウゲ・エゾツルキンバイ・イヌイなどと混生あるいは小群をなして生育する。北岸では干潟公園建設や護岸工事で一部消滅したが、生育状況から踏み付け・車輛入り・ゴミの堆積がなければ保存可能と考えられる。南岸部は米軍天ヶ森射撃爆撃場内にあり立入禁止区域となって保存されている。

(根市益三)